



平成24年10月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年5月31日

上場取引所 東

上場会社名 パーク24株式会社

コード番号 4666 URL <http://park24.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 西川 光一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営企画本部長

(氏名) 佐々木 賢一

TEL 03-3213-8900

四半期報告書提出予定日 平成24年6月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年10月期第2四半期の連結業績(平成23年11月1日～平成24年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年10月期第2四半期	67,221	16.4	8,078	52.9	7,851	55.4	4,273	131.9
23年10月期第2四半期	57,759	6.9	5,283	△16.1	5,051	△13.3	1,842	△39.7

(注)包括利益 24年10月期第2四半期 3,873百万円 (102.5%) 23年10月期第2四半期 1,912百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年10月期第2四半期	29.84	29.71
23年10月期第2四半期	12.93	12.89

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年10月期第2四半期	111,105	42,402	37.9
23年10月期	108,935	41,685	38.0

(参考)自己資本 24年10月期第2四半期 42,099百万円 23年10月期 41,443百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年10月期	—	0.00	—	30.00	30.00
24年10月期	—	0.00	—	—	—
24年10月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年10月期の連結業績予想(平成23年11月1日～平成24年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	139,000	12.0	16,500	24.1	16,000	25.9	9,000	37.5	63.12

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、四半期決算短信【添付資料】P.4「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年10月期2Q	150,269,004 株	23年10月期	149,023,304 株
24年10月期2Q	6,460,837 株	23年10月期	6,460,877 株
24年10月期2Q	143,245,949 株	23年10月期2Q	142,491,268 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成23年11月1日～平成24年4月30日）におけるわが国経済は、欧州の債務危機や歴史的な円高が小康を得たことに加え、個人消費や住宅建設の一部に持ち直しの動きが見られたことなどにより、過度に悲観的な見方は後退したものの、電力供給の制約や原子力災害の影響、原油価格の上昇、物価のデフレ基調の継続など、懸念材料も多くその先行きは予断を許さない状態が続いております。

このような環境のもと当社グループは、快適なクルマ社会の実現に向け、「駐車場事業」においては件数・台数の拡大を、「モビリティ事業」においてはレンタカーサービスの収益基盤拡大とカーシェアリングサービスの市場創造に努めてまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の当社グループの売上高は672億21百万円（前年同期比16.4%増）、営業利益80億78百万円（同52.9%増）、経常利益78億51百万円（同55.4%増）、四半期純利益42億73百万円（同131.9%増）と増収増益になりました。

報告セグメントごとの業績は次のとおりであります。

「駐車場事業」

開発面においては、量的拡大と収益性を重視した開発を進め、当四半期連結累計期間末におけるタイムズ駐車場の運営台数は前連結会計年度末比103.6%の369,921台、月極駐車場及び管理受託駐車場を含めた総運営台数は同102.3%の468,061台となりました。

収益面では、厳選した優良物件の開発に加え既存物件の収支改善施策の実施等により、当事業の売上高（セグメント間の内部売上高を含む）は545億73百万円（前年同期比10.5%増）、営業利益は112億30百万円（同21.0%増）となりました。

「モビリティ事業」

レンタカーサービスについては、法人向け営業の強化や新規営業所の出店等により新しい顧客層の開拓に努めております。また、草創期にあるカーシェアリングサービスについては、配備車両の増加と密着したプロモーション活動により、当四半期連結累計期間末における会員数は前連結会計年度末比45.2%増の104,358人となりました。昨年3月の株式取得に伴い開始したロードサービスについても概ね堅調に推移しました。

この結果、モビリティ事業全体の当四半期連結累計期間末の車両台数は前連結会計年度末比8.1%増の28,367台（うち、カーシェアリングサービスの車両台数は4,073台）となり、当事業の売上高（セグメント間の内部売上高を含む）は127億32百万円（前年同期比44.2%増）、営業損失は4億69百万円（前年同期は6億23百万円の営業損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比21億70百万円増加して1,111億5百万円となりました。これは主として現金及び預金が2億33百万円、機械装置及び運搬具が8億19百万円、リース資産が6億91百万円増加したことなどによるものです。

負債合計は、同14億53百万円増加し、687億3百万円となりました。これは主として支払手形及び買掛金が2億12百万円、賞与引当金が1億4百万円、資産除去債務が1億37百万円増加したことなどによるものです。

純資産は、四半期純利益の計上により42億73百万円、ストック・オプションの行使による新株の発行により10億60百万円増加したほか、利益剰余金の配当により42億76百万円減少したことなどにより、同7億17百万円増加し、424億2百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は前連結会計年度末に比べて2億33百万円増加し、122億15百万円となりました。

当四半期連結会計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下の通りです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られたキャッシュ・フローは、114億63百万円（前年同期比21億40百万円の増加）となりました。主な内訳といたしましては、減価償却費を加えた税金等調整前四半期純利益144億89百万円に対し、法人税等の支払額33億86百万円があったことなどによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動に使用したキャッシュ・フローは、68億23百万円（前年同期比25億24百万円の減少）となりました。これは主として、タイムズ駐車場開設や営業車両の取得に伴う、有形固定資産の取得による支出53億40百万円、長期前払費用の取得による支出11億78百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、44億13百万円の資金の支出（前年同期比5億89百万円の支出の増加）となりました。これは、長期借入れによる収入76億円があった一方、配当金の支払額42億69百万円、短期借入金の純減45億49百万円、長期借入金の返済30億4百万円があったことなどによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年10月期の連結業績予想につきましては、「平成23年10月期 決算短信」（平成23年12月15日付）で公表した数値に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

第1四半期連結会計期間より「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号 平成22年6月30日)および「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日)を適用しております。

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定にあたり、一定期間経過後に権利が確定するストック・オプションについて、権利の行使により払い込まれると仮定した場合の入金額に、ストック・オプションの公正な評価額のうち、将来企業が提供されるサービスに係る分を含める方法に変更しております。

(4) 追加情報

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)および「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,997	12,231
受取手形及び売掛金	5,056	5,005
たな卸資産	553	588
その他	8,041	9,017
貸倒引当金	△41	△44
流動資産合計	25,608	26,799
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,437	10,327
機械装置及び運搬具（純額）	18,684	19,504
土地	24,654	24,657
リース資産（純額）	10,553	11,244
その他（純額）	3,507	3,975
有形固定資産合計	67,837	69,710
無形固定資産		
のれん	2,068	1,890
その他	1,016	1,012
無形固定資産合計	3,085	2,902
投資その他の資産	12,403	11,694
固定資産合計	83,327	84,306
資産合計	108,935	111,105
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,961	2,174
短期借入金	22,162	25,013
未払法人税等	3,439	3,412
賞与引当金	958	1,063
引当金	99	67
その他	12,595	13,010
流動負債合計	41,218	44,741
固定負債		
新株予約権付社債	1,000	1,000
長期借入金	13,290	10,501
退職給付引当金	891	842
引当金	223	242
資産除去債務	3,404	3,541
その他	7,222	7,834
固定負債合計	26,031	23,962
負債合計	67,249	68,703

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年4月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,864	7,395
資本剰余金	8,618	9,147
利益剰余金	36,259	36,256
自己株式	△9,343	△9,343
株主資本合計	42,399	43,457
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	75	69
土地再評価差額金	△620	△1,052
為替換算調整勘定	△411	△374
その他の包括利益累計額合計	△956	△1,357
新株予約権	242	302
純資産合計	41,685	42,402
負債純資産合計	108,935	111,105

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年11月1日 至 平成23年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年11月1日 至 平成24年4月30日)
売上高	57,759	67,221
売上原価	43,237	48,690
売上総利益	14,521	18,530
販売費及び一般管理費	9,237	10,451
営業利益	5,283	8,078
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	2	2
持分法による投資利益	11	18
駐車場違約金収入	18	28
未利用チケット収入	51	67
その他	104	73
営業外収益合計	190	192
営業外費用		
支払利息	219	197
駐車場解約費	179	183
その他	24	37
営業外費用合計	423	419
経常利益	5,051	7,851
特別損失		
災害による損失	74	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,147	—
特別損失合計	1,221	—
税金等調整前四半期純利益	3,829	7,851
法人税、住民税及び事業税	2,396	3,374
法人税等調整額	△409	202
法人税等合計	1,986	3,577
少数株主損益調整前四半期純利益	1,842	4,273
四半期純利益	1,842	4,273

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年11月1日 至 平成23年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年11月1日 至 平成24年4月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,842	4,273
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	19	△5
土地再評価差額金	—	△431
為替換算調整勘定	25	27
持分法適用会社に対する持分相当額	25	9
その他の包括利益合計	69	△400
四半期包括利益	1,912	3,873
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,912	3,873

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年11月1日 至 平成23年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年11月1日 至 平成24年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,829	7,851
減価償却費	5,664	6,638
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,147	—
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	44	△48
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△2	19
受取利息及び受取配当金	△4	△4
支払利息	219	197
売上債権の増減額 (△は増加)	△255	51
たな卸資産の増減額 (△は増加)	257	326
仕入債務の増減額 (△は減少)	50	△47
未収入金の増減額 (△は増加)	172	△1,123
前払費用の増減額 (△は増加)	154	378
未払金の増減額 (△は減少)	56	200
設備関係支払手形の増減額 (△は減少)	316	△471
その他	1,223	1,072
小計	12,874	15,040
利息及び配当金の受取額	4	4
利息の支払額	△214	△195
法人税等の支払額	△3,340	△3,386
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,323	11,463
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△6	△6
定期預金の払戻による収入	6	6
有形固定資産の取得による支出	△6,167	△5,340
有形固定資産の売却による収入	2	11
無形固定資産の取得による支出	△73	△95
投資有価証券の売却による収入	12	20
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△845	—
長期前払費用の取得による支出	△2,146	△1,178
その他	△129	△241
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,348	△6,823

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年11月1日 至 平成23年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年11月1日 至 平成24年4月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	3,784	△4,549
長期借入れによる収入	600	7,600
長期借入金の返済による支出	△2,813	△3,004
リース債務の返済による支出	△1,135	△1,250
株式の発行による収入	—	1,060
自己株式の取得による支出	△0	—
配当金の支払額	△4,259	△4,269
その他	—	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,824	△4,413
現金及び現金同等物に係る換算差額	6	7
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△3,842	233
現金及び現金同等物の期首残高	12,476	11,981
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,634	12,215

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成22年11月1日 至 平成23年4月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	駐車場事業	モビリティ事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	48,952	8,806	57,759	—	57,759
セグメント間の内部売上高 又は振替高	438	24	463	△463	—
計	49,391	8,830	58,222	△463	57,759
セグメント利益又は損失（△）	9,283	△623	8,659	△3,375	5,283

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△3,375百万円には、のれんの償却額△76百万円、全社費用△3,298百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自 平成23年11月1日 至 平成24年4月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	駐車場事業	モビリティ事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	54,504	12,716	67,221	—	67,221
セグメント間の内部売上高 又は振替高	68	15	84	△84	—
計	54,573	12,732	67,306	△84	67,221
セグメント利益又は損失（△）	11,230	△469	10,760	△2,681	8,078

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△2,681百万円には、のれんの償却額△178百万円、全社費用△2,503百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。